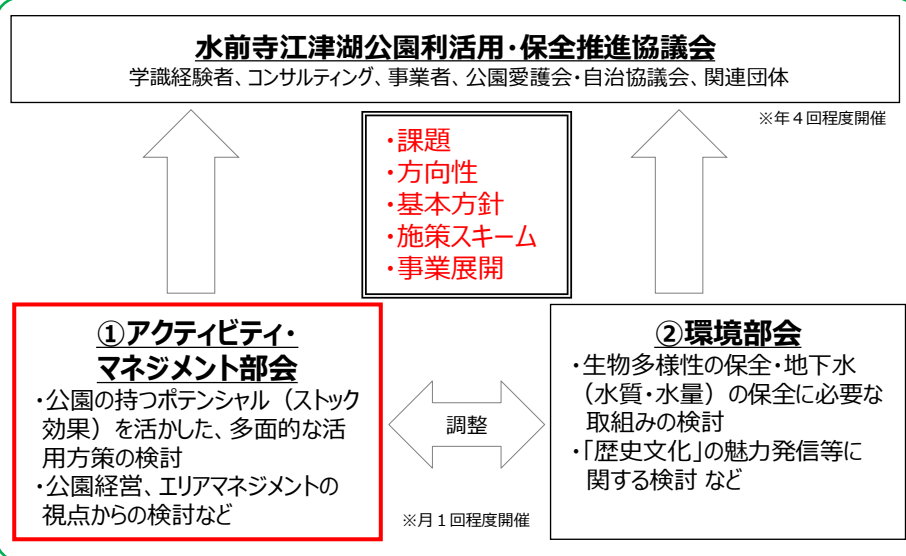


<部会の位置づけ>



<部会のスケジュール>

今後のスケジュール（案）

今後のスケジュール（案）																				
2018年度（平成30年度）										2019年度～	2020年度	2021年度	2022年度～							
										7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会	事業計画	利活用・保全計画の検討										利活用・保全計画策定	短期的な施策		中長期的な施策					
		市民意見聴取（オープンハウス等）											施設老朽化への対応（施設更新）							
		サウンディング（市場調査）											官民連携した取組み（利活用・保全）の展開（市民・事業者・活動団体等）							
	民間活力導入可能性の検討										民間活力導入公募		全国都市緑化フェア（秋もしくは春の2ヶ月程度）							
	▼第1回（7/4） ・概要										▼第2回（9月下旬～10月上旬） ・具体的事業内容 ・課題の抽出 ・方向性について									
	▼第3回（11月下旬） ・骨子（案）										▼第4回（2月下旬） ・素案									
	▼第5回（5月下旬） ・パブコメ報告										進行管理 ・取組み実施状況 ・実施内容のチェック									
推進協議会	第1回（8/6） ・課題抽出・整理										第2回（9月） ・課題への対応（方向性）の検討 ・基本方針の検討									
部会	第3回（10月） ・具体的事業スキームの検討										第4回（11月） ・市民意見聴取内容の検討 ・具体的事業スキームの検討 ・計画の骨子（案）の検討									
第5・6回（12月・1月） ・具体的事業スキームの検討 ・事業展開スケジュールの検討 ・運営手法・担い手づくりの検討										第7回（2月） ・計画素案の検討										
第8・9回（3月・4月） ・パブリックコメント意見を踏まえた検討																				

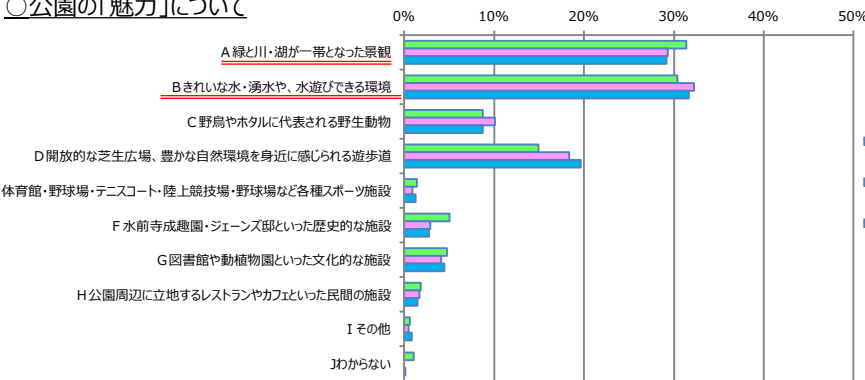
（全国都市緑化フェア
（秋もしくは春の2ヶ月程度）

＜市民ニーズ把握調査＞

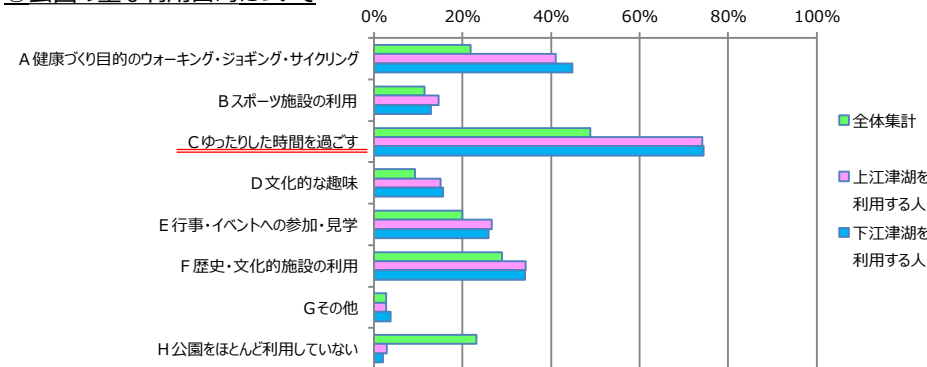
調査名	①2000人 市民委員会 アンケート調査	② 近隣住民への アンケート	③ 関係団体への アンケート	④ 公園利用者への アンケート	⑤ 近隣小学生への 意向調査
対象 地区	水前寺江津湖公園一帯			水前寺運動公園を除く 水前寺江津湖公園一帯	
調査 期間	平成26年 6月～8月 (2ヶ月間)	平成26年9月 25日～ 平成26年10月31日 (36日間)	平成26年10月 1日～ 平成26年10月31日 (31日間)	平成27年5月～8月 (4ヶ月間)	平成27年9月 4日
調査 対象者	調査希望者 (市内に居住す る市行政アンケ ー調査事前登録 者)	無作為抽出の近 隣住民 1000人	公園関係団体 (自治会、自然 環境団体など)	公園利用者への ヒアリング方式	小学4年生
調査 方法	郵送により 配布、回収	郵送により 配布、回収	郵送により 配布、回収	都度回収	都度回収
回収 数	1653サンプル	453サンプル	14サンプル	157サンプル	162サンプル
実施 主体	熊本市（公聴 課・公園課）	熊本市（公園課）			

①2000人市民委員会アンケート調査

○公園の「魅力」について

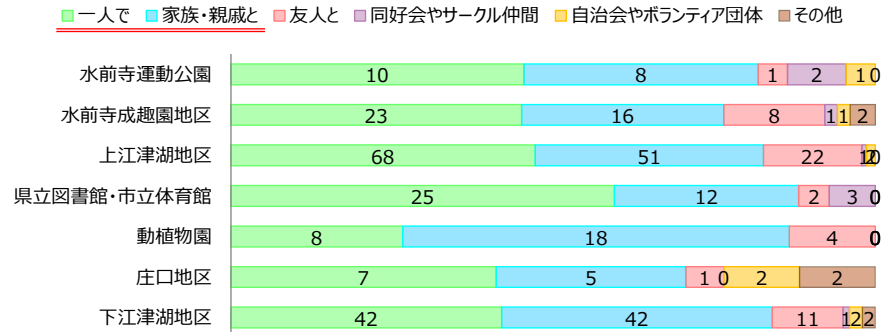


○公園の主な利用目的について



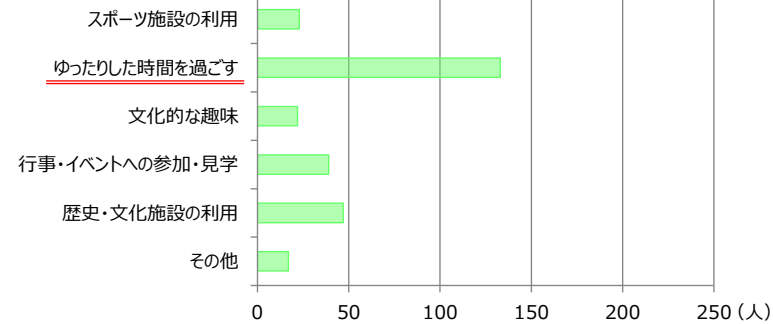
②近隣住民へのアンケート

○公園を誰と利用することが多いか

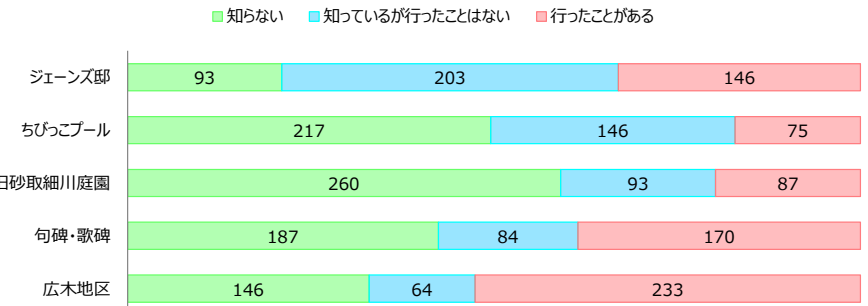


○公園の利用目的はどれに近い

健康づくり目的のウォーキング・ジョギング・サイクリング



○公園内の各施設について



市民ニーズの把握

③ 関連団体へのアンケート（自治協議会、自然環境団体、ボランティア団体、公園利用団体、公園指定管理者）

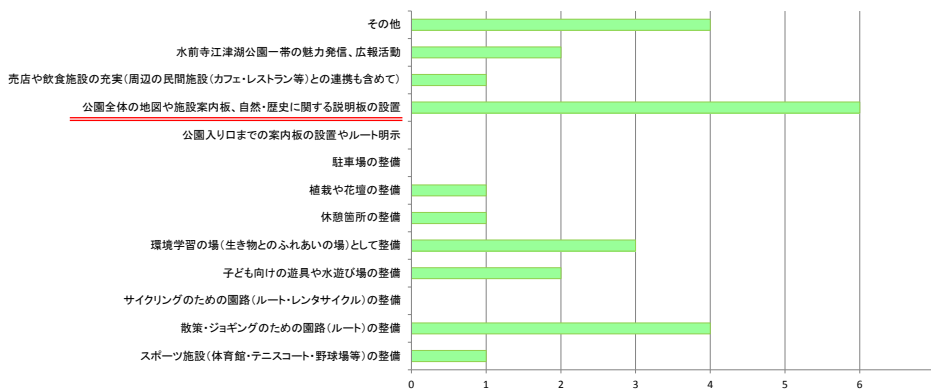
○ 江津湖の自然を守るために何が必要だと思うか

- 生物が住みやすい環境づくり(多自然型工法などによる動植物の"すみか"づくりなど)
- 希少動物の保護事業(保護・繁殖事業や放流など)
- 外来生物(ブラックバス・ウォーターレタスなど)の駆除
- 清掃など美化活動
- 環境教育の充実(イベント実施、広報・啓発活動)
- 企業・教育機関・NPO・行政等の組織・団体間の連携、ネットワークの構築
- 江津湖の環境保全と利活用に関する「方針づくり」

○ 公園がどのようになっていくと良いと思うか

- 立ち入り制限地区などを設定し、自然環境の保全に取り組む公園
- レジャーなどで自然環境やゆったりした時間を楽しめる公園
- 体力づくりや健康づくりの場として活用できる公園
- 地域イベントなど地域交流の場として活用される公園
- 県外・市外からも来訪者がある公園
- その他

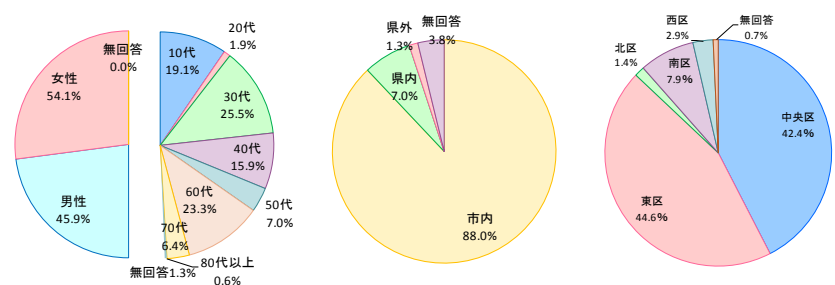
○ 公園の運営・整備を行っていく中で、どの項目を優先的に行ってほしいか



④ 公園利用者へのアンケート

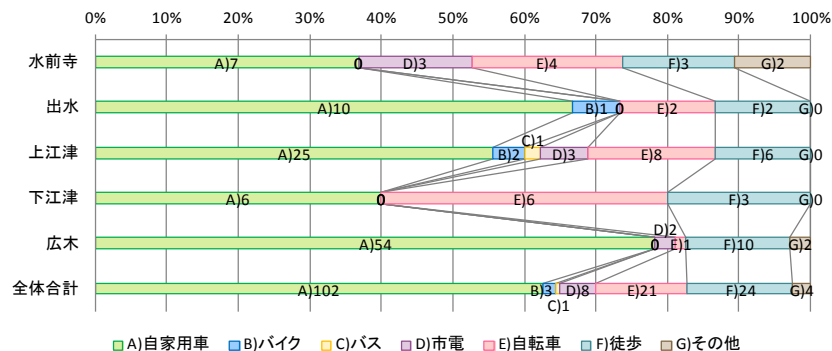
○ 回答者の男女比、年齢比、居住地について

- ・30代、40代、60代の利用者が多い。20代の利用者は少ない。
- ・居住地としては、市内が約9割を占め、中央区と東区の割合が特に大きい。



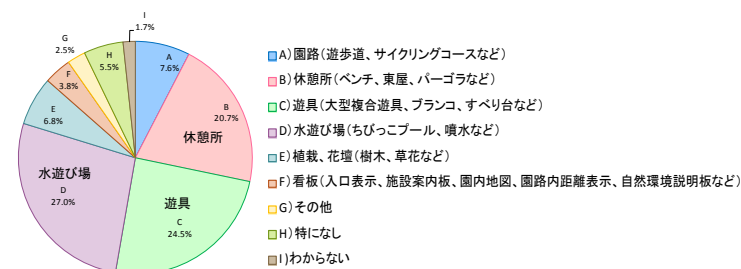
○ 交通手段について

- ・全体として、自家用車で来園が多く、バスでの来園は、非常に少ない。
- ・交通アクセスが良い水前寺地区では、市電利用、自転車利用が多い。
- ・バス路線がない広木地区においては、自家用車の割合が非常に高い。



○ 公園内の施設整備について

- ・「休憩所(ベンチ)」、「遊具(大型複合遊具)」、「水遊び場」を望む声が多い。
- ・「特になし」は5.5%と少なく、多くの方が何かしらの追加整備を望んでいる。
- ・要望箇所を地区別で見ると、「上江津」、「広木」地区への要望が多い。



地区名	割合
江津湖全域	1.7%
下江津湖全域	0.9%
上江津湖全域	0.4%
水前寺	0.4%
出水	5.1%
上江津	40.9%
庄口	0.9%
下江津	9.4%
広木	40.4%

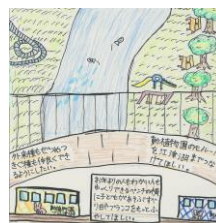
(施設要望箇所)

⑤近隣小学校への意向調査

調査日時：平成27年9月
対象者：画図小学校
調査手法：グループワーク
サンプル数：174（小学4年生、5年生）



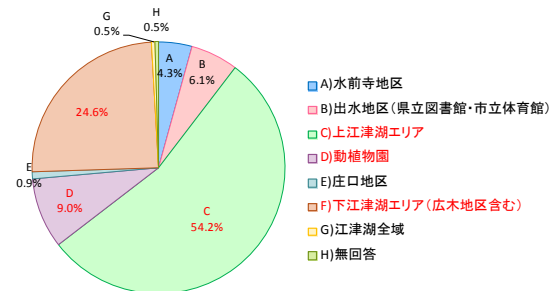
【自然でつくるアスレチック遊具】



【動物園のモノレールを江津湖までつなげる】

○江津湖での遊び場所について

・上江津湖エリアが非常に多い。



○江津湖のイメージについて

・自然の豊かさに関するプラスイメージが5割を超えている。
・公園内の汚さをあげる子どもも多い。

項 目		回答数	割合
プラスのイメージ	A) 自然・緑がいっぱい	64	18.3%
	B) 川・湖等の水辺の環境、水がきれい・冷たい・豊か	78	22.3%
	C) 生き物がたくさんいる	37	10.6%
	D) めずらしい動植物がある	11	3.1%
	E) 静か・ゆっくりできる	2	0.6%
	F) 広い	15	4.3%
	G) 遊ぶところがたくさんある	20	5.7%
	H) 水遊びができる・ボートに乗れる	33	9.4%
	I) ボール遊びができる	2	0.6%
	J) 散歩・サイクリングができる	3	0.9%
マイナスのイメージ	K) イベントがある・清掃活動がある	8	2.3%
	L) 動植物園がある	3	0.9%
	M) 歴史がある	3	0.9%
	N) ゴミがない	2	0.6%
	O) 自然が少ない	1	0.3%
	P) 外来種、外来魚が多い	10	2.9%
	Q) 遊ぶところが少ない	2	0.6%
	R) 公園内が汚い（草が伸びている、水が汚い、ゴミが多い）	23	6.6%
	S) その他	26	7.4%
	無回答	7	2.0%
合 計		350	100.0%

※5%以上を赤字で表示

各アンケートの主な意見について

調 査 名	主 な 意 見
①2000 人市民委員会 アンケート調査	<p>利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ランニングが楽しめる環境づくり（ジョギングステーション等）をして欲しい。江津湖を一周できるジョギング&サイクリングコースをつくってほしい。 ○下江津湖の一角にドッグランがあればいい。 ○サイクリング用の自転車の貸し出しをやってもらいたい。 ○江津湖畔に、センスの良いカフェやレストランがあれば、もっと良くなる。 <p>施設整備・維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トイレが少ない。増やして欲しい。 ○授乳室の設備と子ども用のトイレが欲しい。 ○子どもが小さいので、幼児が遊べる水場を充実して欲しい。 ○散歩コースにカメラを取り付けて欲しい。 ○案内板を増やして欲しい。電灯も少ない。 ○下江津湖地区に日よけの休憩所を設置して欲しい。 ○樹木、花の名前札を付けて欲しい（植物の説明パネル等）。 ○公共交通のアクセスが不便で、駐車場も足りていない。 ○江津湖湖畔行きのバスがあればいい。 ○草が伸びすぎている。 ○駐車場の場所がわかりにくい。駐車場の案内をわかりやすくして欲しい。 ○ベンチは、木下に置くなど日陰のところにおいて欲しい。 ○下江津湖の駐車場を朝早くから開けて欲しい。 ○木陰がほとんどない。 ○ゴミの放置や、犬の散歩のマナーが悪い。 <p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然を第一優先に考え、自然環境を活かした公園にして欲しい。 ○外来生物の徹底的駆除が必要。 <p>PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ○もっと PR が必要。熊本城との 2 枚看板にしたい。 ○生水で飲める設備を設置して、熊本をアピールするといい。
②近隣住民 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全（生物が住みやすい環境づくり）、清掃などの美化活動を望む意見が多い ・ジェーンズ邸、旧砂取細川庭園について、「知らない」「知っているが行ったことはない」方が多い。
③関係団体への アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体とも、定期的な清掃活動等を実施されている。 ・公園内の自然環境を危惧し、環境保全を強く求める意見が多い。
④公園利用者への アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・園路や、休憩所、子どもの遊び場整備に関する要望意見が多い。 ・自然との調和した施設整備（案内板・柵）望む傾向も強い。
⑤近隣小学生への 意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生らしい夢のある回答が多かった。 ・遊びに関しては、水を活用した遊びや遊具の設置、江津湖の自然を学び遊べる水族館やタッチプール、乗り物についての案が寄せられた。 ・環境保全のための活動や美化（清掃）に関して、楽しみながら実施する案も多く寄せられた。

1.本市を取り巻く社会状況

- 少子高齢化と人口減少
- 財政面、人員面の制約
- 価値観・ライフスタイルの多様化
- 自然環境問題
- H28熊本地震からの復興

2.本市の公園の状況

- 都市公園ストックの一定の蓄積（1,078箇所、712ha）
- 老朽化施設（遊具、トイレ、ベンチなど）の増加と対応
- 厳しい財政制約

3.都市の将来像

- 上質な生活都市
（市民が住み続けたい、だれもが住んでみたい、訪れたいまち）
- 多核連携型の都市構造
- 大規模地震等の災害に対するレジリエントなまちづくり

※レジリエント：変化に対処する能力
（社会の回復力、弾力性、復元力など）

【水前寺江津湖公園における課題】

限られた予算の中で、様々な課題に対応する必要がある。

- ① **利活用（魅力と質の向上）**：まちなかにあるオアシスとしてのポテンシャルを活かしきれていない（観光面含）
- ② **環境保全**：水前寺江津湖公園の豊かな自然環境、文化資源を、いかに保全し、次の世代につなげていくか
- ③ **維持管理**：いかに老朽化施設（トイレ、照明灯、ベンチ等）の更新等をしていくか

アクティビティ・マネジメントプランの基本的考え方（目指すべき方向性）

市民の憩いの空間として、誰もが訪れたことのある江津湖公園。しかしながら、施設老朽化で施設の更新が迫るとともに、生物多様性を含む環境問題など、多くの課題を抱える公園となっている。
生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、誰もが誇れる、上質な公園空間の創出を実現する。

キーワード（視点）

①「魅力」と「質」の向上

②適切な公園経営・資産運用

③運営手法と担い手づくり

基本的考え方（１）：「魅力」と「質」の向上

- 恵まれた自然環境（水、花緑、動植物など）を実感できる生物多様性の豊かな公園づくり
- 地域資源（美しい景観、歴史、文化）の顕在化を図る
- 「利用者ニーズにあった公園運営」への転換を図る
- 利用者視点にたった公園サービスを提供する
- 観光客にアピールできる個性に磨きをかける
- 公園の質の評価を向上させていく仕組み（市民意見の反映）を構築する

公園の多機能性の最大化
「魅力・質」

基本的考え方（２）：適切な公園経営・資産運用

- 面積126haを有する江津湖公園を資産と捉え、この資産ストック効果をより高める
- 江津湖公園の持つポテンシャルを柔軟な発想で引き出す
- 民間との連携の加速による、都市公園の魅力向上を図る
- 民間活力を発揮、引き出しやすい環境を整備する（ガイドライン）
- 得られる収益を、維持管理費用、新たな魅力向上事業など、来園者のサービス向上につなげる

基本的考え方（３）：運営手法と担い手づくり

- 公園キャストの発掘、働きかけ、人材育成からキャストネットワークの拡大
- 地域のエリアマネジメント組織による公園運営
- 市民・事業者（民間）・行政の連携（知恵を絞る）による公園利用の幅を拡大する
- 市民・事業者（民間）・行政の連携した災害防災力を向上する
- 生物多様性に配慮した協働管理ルールを共有する

環境維持、向上

防災、防犯

景観づくり

まちの賑わいづくり
（イベント・アクティビティ）

情報の発信

コミュニティづくり

以下の内容・視点（イメージ）について、課題の抽出および整理を行うとともに、具体的方向性について検討する。

アクティビティ

水前寺江津湖公園の自然を活かし、学び、体験・体感できるアクティビティプログラムの検討

① 自然を楽しめる体験型プログラム（環境×体験）

- （１）具体的アイデア （２）仕組み（スキーム）づくり
事業イメージ：カヤック・カヌー、キャンプ、BBQなど

② 広大な敷地を活かしたプログラム

- （１）具体的アイデア （２）仕組み（スキーム）づくり
事業イメージ：ニュースポーツ（クライミングウォール、スラックライン、スタンドアップパドル・サーフィンなど）
健康プログラム（パークウェルネスプログラム、ノルディックウォーキング、ウォーキング、ジョギング、ランニングなど）
子どもが楽しめる遊具、ドッグランなど

③ 園内移動手段

- （１）園内を楽しく移動できるモビリティの確保【陸上（レンタサイクル・タンデム自転車）水上（ボート移動）】

マネジメント

公園の魅力・価値の向上に向けた公園マネジメントの強化検討

① 魅力の向上、新たな魅力の発掘

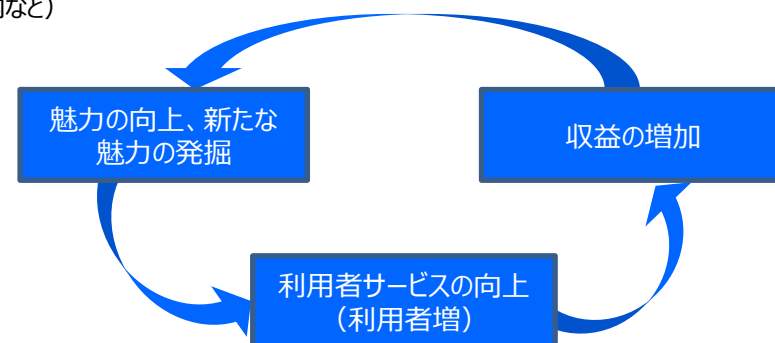
- （１）アクティビティプログラム展開
（２）豊かな自然環境を活かした多彩なイベント展開（自然体験・環境学習イベントなど）
（３）SNS等を活用した情報発信（イベント、歴史文化施設、園内案内など）

② 利用者サービスの向上

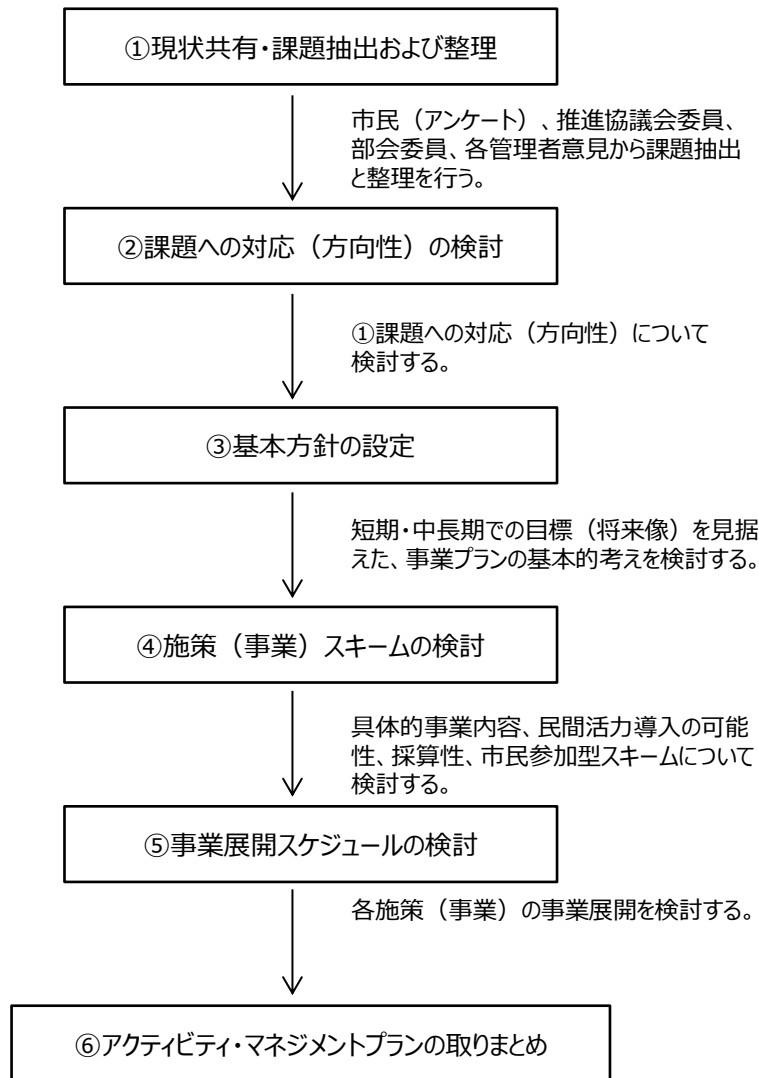
- （１）施設（トイレ・休憩所など）の新設・改修（快適性・美装化）
（２）交通アクセスと駐車場（増設）
（３）植生管理（除草・剪定回数の増）
（４）イベント等の広報発信

③ 収益の増加

- （１）収益の仕組み（スキーム）づくり
（２）収益施設の検討（業種・業態・設置エリア）
（３）イベントガイドライン



＜検討フロー＞



＜部会開催時期と内容＞

開催時期	検討内容
第1回 (8/6)	①部会での検討内容（キーワード）、検討の進め方（フロー）の検討 ①市民アンケート結果、委員意見、各管理者意見をもとに、水前寺江津湖公園に関する課題抽出と整理を行う。
第2回 (9月)	②課題への対応（方向性）のアイデア出し検討（この段階ではアイデアベース） ③基本方針（短中長期での目標・将来像）の検討
第2回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：課題と基本方針（案）	
第3回 (10月)	①②③協議会意見を踏まえたフィードバック ④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム）
第4回 (11月)	④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム） ①②③④計画の骨子（案）の検討
第3回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：計画の骨子（案）	
第5回 (12月)	①②③④協議会意見を踏まえたフィードバック ④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム）
第6回 (1月)	⑤事業展開スケジュールの検討 ④⑤運営手法・担い手づくりの検討
第7回 (2月)	⑥計画素案の検討
第4回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：素案	
第8回 (3月)	⑥協議会意見を踏まえたフィードバック
第9回 (4月)	⑥パブリックコメント意見を踏まえた検討
第5回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：計画（案）	